

文化・芸術

「子行形柱」

2010年、ペン、水彩・紙
35・0センチ×24・0センチ（山口昇氏寄贈）

山口 晃（1969年〜）

2024年度の新収蔵作品をご紹介します。本作は市内のご所蔵の方から寄贈いただきました。

本作のモチーフは日本の都市空間において景観や通行の邪魔として語られることの多い電柱。生活の中で見落とされがちな存在に目を留め独特の美を見いだす作家の感性とユーモアが光るテーマです。電柱を都市の巨大立花と見立てた「自由研究（柱華道）」（08年）をはじめとし、本作のように居住空間や生活空間が電柱と一体となった作品を展開しています。単身者住居の本作は書斎、洗濯物干し、台所と電柱の周りに小さなスペースがらせん状に連なり、電柱の陰にはごみ箱まで。目で階段を下りて緻密な空間を巡ることができる楽しい一点です。

大川美術館は館内改修工事のため、来年4月25日まで休館をいたします。大変ご迷惑をおかけいたしますが、何とぞご理解をたまわりますようお願い申し上げます。

本年の「名画の扉」はこれが最後となります。ご愛読いただきありがとうございます。ありがとうございました。（大谷）

名画の扉

2024年度新収蔵作品から

